

## Ⅱ 生体防御医学研究所主催セミナー



# 生体防御医学研究所主催セミナー

平成元年1月から平成2年3月までに、当研究所主催で行われたセミナーは、下記の通りである（担当：遺伝学部門）

第99回 平成元年1月14日(土)

Dr. Alain Israel (Institut Pasteur, Paris)

“Regulation of mouse MHC class I gene expression”

第100回 平成元年1月25日(木)

安本 茂 博士 (神奈川県立がんセンター、分子腫瘍)

“HPV 16によるヒト正常上皮細胞の癌化とその制御”

第101回 平成元年2月15日(木)

内田 驍 教授 (阪大細胞工学センター、細胞工学技術開発)

“実験動物肝臓へのDNA導入とその発現”

第102回 平成元年3月28日(火)

多田 富雄 教授 (東大医学部、免疫)

“サプレッサーT細胞を考える”

第103回 平成元年3月30日(木)

遠藤 英也 教授 (生医研、生化学)

“がんと遺伝子発現”

第104回 平成元年5月19日(金)

Prof. Clement L. Markert (North Carolina State Univ.)

“Physiological Changes in Organisms by Transgenesis”

第105回 平成元年6月19日(月)

中村 敏一 教授 (九大理学部、代謝生理)

“肝再生の開始と停止の分子機構”

第106回 平成元年7月4(火)

滝原 義宏 先生 (九大医学部、第1内科)

“ヒトT細胞レセプター $\delta$ 鎖遺伝子の構造と多様性”

第107回 平成元年8月9日(水)

Robert A. Good, M. D., Ph. D. (Univ. South Florida)

“Lymphoid System Development-Ontogenic, Phylogenic, Molecular and Historic Perspectives—”

第108回 平成元年9月4日(月)

Dr. John I. Bell (Univ. Oxford, John Radcliffe Hosp.)

“Structural basis and mechanisms of MHC association with autoimmune diseases”

第109回 平成元年11月9日(木)

添田 栄一 先生 (筑波ライフサイエンス)

“ヒト染色体21番の ordered ライブラリーの作製”

第110回 平成元年11月21日(火)

望月 学 先生 (東大医学部、眼科)

“実験的自己免疫ぶどう膜網膜炎の免疫学”

第111回 平成2年1月6日(土)

Dr. Kei Saizawa (Max Plank Institute)

“Roles of CD 4 molecules in T cell activation-An alternative interpretation and beyond.”

第112回 平成2年2月8日(木)

五条堀 孝 助教授 (国立遺伝研、進化遺伝)

“病原性ウイルス遺伝子の進化”

第113回 平成2年2月15日(木)

Dr. Jonathan R. Lamb (Royal Postgraduate Medical School)

“The cellular and molecular basis of T cell recognition of Dermatophagoides farinae (house dust mite) ”

第114回 平成2年2月22日(木)

結 城 惇 先生 (雪印生物科学研究所)

“トランスジェニック技術の医薬品開発への利用”

第115回 平成2年3月6日(火)

井 川 洋 二 先生 (理研、分子腫瘍)

“がん遺伝子とがん抑制遺伝子の本態”

第116回 平成2年3月19日(月)

馬 場 恒 男 教授 (生医研、細胞学)

“癌研究を通して思ったこと”